

Emacs で Coq を使う

Emacs の起動

情報メディア教育センターでは Emacs のアイコンをクリックするだけでいい。多元数理科学研究科の BSD サーバーでは `\emacs` と入力する。(最初の `\` は端末内に表示させるという設定を避けるため)

Emacs の基本操作

Emacs を使ったことがなければ、慣れるのに少しかかるが、プログラミングや TeX の編集に最適なエディタなので、無駄にはならない。

操作には、マウスやカーソルキー以外にコントロールキー (`x` を同時に押すときは `<C-x>` と書く)、シフトキー (`<S-x>` と書く) とメタキー (`<M-x>` と書く) をベースにしたキー列を利用する。メタキーパソコンにはないので、Mac ではコマンドキー、PC では Alt キーを使う。

最もよく使うコマンドを以下にまとめた。

<code><C-x><C-f></code>	ファイルを開く (“find”)
<code><C-x><C-s></code>	ファイルを保存する (“save”)
<code><C-x><C-w></code>	名前を変えて保存する (“write”)
<code><C-x><C-c></code>	Emacs を終了させる
<code><C-g></code>	実行中のコマンドを止める
<code><C-S-_></code>	直前の操作を取り消す (繰り返し可能)
<code><C-a></code>	行の先端に移動する
<code><C-e></code>	行の終わりに移動する
<code><C-k></code>	行の終わりを削除する (“kill”)
<code><C-y></code>	削除した文を挿入する (“yank”)

設定ファイルの編集

まず、Proof General を使えるようにしなければならない。情報メディア教育センターの計算機では設定を行う必要がある。

講義のホームページから以下のファイルをダウンロードして下さい。

http://www.math.nagoya-u.ac.jp/~garrigue/lecture/2013_AW/coq.emacs

ダウンロードしたら、今までの `.emacs` を上書きする。Terminal を開いて、以下のコマンドを入力する。

```
$ cp Downloads/coq.emacs ~/.emacs
```

Proof General の使用

Emacs を起動してから名前が `.v` で終わるファイルを開くと ProofGeneral というインターフェースが起動する。

```
<C-x><C-f>test.v<ret>
```

ProofGeneral で以下のコマンドが使える。

<code><C-c><C-n></code>	一つのコマンドを処理する
<code><C-c><C-u></code>	最後のコマンドを撤回する
<code><C-c><C-return></code>	現在の入力位置までのコマンドを処理または撤回する

また、上のアイコンを使ってもいい。右三角 (`>`) はコマンドの処理、左三角 (`<`) は撤回、蝶ネクタイ (`\times`) は現在の入力位置に移動。

Proof General では画面が二つのバッファに分かれる。上には自分の編集しているファイル、したには現在処理している位置に対する Coq の出力。